

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73215	3	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)		精神看護援助論Ⅱ（精神看護） (Mental Health & Psychiatric Nursing Ⅱ)			
担当教員名		加藤 星花／愛川 由美子／重富 一乃			
授業の概要及び到達目標					
本科目では、精神的健康に問題を持つ対象とその家族の理解、問題状況への危機介入から地域社会生活への適応に向けた精神看護援助技術の基本、および精神障がい者とその家族を対象にした様々な援助技法（あるいは回復を助ける方法）を学ぶ。授業方法は、講義やロールプレイ、グループワークである。 到達目標 ・精神的健康に問題を持つ対象とその家族について、理解を深めることができる ・精神科治療と看護の役割が説明できる ・治療的対人関係構築のための基本技術が理解できる ・精神的健康に問題を持つ人と家族の回復を助ける方法を理解できる ・ペーパーペイシエントを用いて精神的健康に問題を持つ患者のアセスメントができ、看護の方向性が考えられる					
準 備 学 習 等					
・本科目の受講前に、前期「精神看護援助論Ⅰ」で紹介するビデオを見て感想文を書いておくこと。 ・授業前および授業時に参考文献や課題を提示することがあるので、必ず確認すること。 ・グループ学習を効率的に進めるために、予習課題を出す予定である。必ず各自で課題を行って演習に臨むこと。					
成績評価の方法		【筆記試験】50%（全授業の終了後に行う） 【課題レポート】30% 【授業への参加度およびグループ学習への取り組み状況】20%			
テキスト		・田中美恵子，「精神看護学 学生・患者のストーリーで綴る実習展開 第2版」，医歯薬出版、2015 ・武井麻子，「精神看護の基礎〈1〉（系統看護学講座 専門分野）」，医学書院，2013 ・武井麻子，「精神看護の展開〈2〉（系統看護学講座 専門分野）」，医学書院，2013			

参考図書	「看護診断にもとづく精神看護ケアプラン第 2 版」(シュティス M.シュルツ他：医学書院、2007) 「精神疾患の理解と看護ケア(精神看護 QUESTION BOX2)」(岩切真砂子：中山書店、2008) 「看護のための精神医学 第 2 版」(中井久夫：医学書院、2001) 「精神科・治療と看護のエッセンス」(市橋秀夫：星和書店、1992) 「精神看護学 こころ・からだ・かかわりのプラクティス」(萱間真美、野田文隆編：南江堂、2009)
備考	・本科目の単位取得は、精神看護学実習の前提条件になっている。 ・本科目の受講にあたっては、精神看護援助論Ⅰを履修していることが望ましい。 ・各教員のオフィスアワーについては、看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。
授 業 計 画	
第 1 回	治療的關係，患者－看護師關係およびプロセスレコード【演習】
第 2 回	精神的健康に問題を持つ人のこころの痛み【演習】
第 3 回	精神科治療と看護の役割①：薬物療法と服薬自己管理
第 4 回	精神科治療と看護の役割②：人権と安全を守る看護／治療的環境
第 5 回	精神科治療と看護の役割③：人権と安全を守る看護／事例検討【演習】
第 6 回	精神科治療と看護の役割④：精神療法とチーム医療および、精神障がい者の家族
第 7 回	オレム・アンダーウッドのセルフケア理論およびストレングスモデル
第 8 回	事例検討①（対象理解）
第 9 回	事例検討②【グループ演習】（セルフケアアセスメント）
第 10 回	事例検討③【グループ演習】（強みのアセスメント）
第 11 回	事例検討④【グループ演習】（看護援助）
第 12 回	精神科治療と看護の役割⑤：社会生活技能訓練（SST）
第 13 回	WRAP：元気回復行動プラン（上手な自分の助け方①）
第 14 回	精神看護におけるコミュニケーション技法
第 15 回	レジリエンスとは？（上手な自分の助け方②）